

下関市入札監視委員会規則第5条第9項に基づき、次のとおり公表します。

入札監視委員会（第56回）議事概要

開催日時	令和5年（2023年）11月16日（木）14：30		
場所	下関市役所本庁舎西棟5階大会議室		
委員	今村 俊一（弁護士） 香月 豊文（一級建築士） 藤本 博美（ファイナンシャルプランナー） 村上 俊秀（高等学校教諭） 足立 俊輔（大学教授）		
審査対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和5年9月30日		
審査対象総件数	219 件	(抽出工事名称)	
及び 審査 対象 件数 抽出 事案	一般競争入札	189 件	令和5年度 山の口・旭線法面对策工事
			川中豊町七丁目 150mm配水管耐震化工事
	随意契約	30件	農業水路等長寿命化・防災減災事業 ぐみが浴 ため池切開工事
議事事項	<ul style="list-style-type: none"> ○下関市建設工事総合評価競争入札事務処理要領の一部改正について ○下関市上下水道局建設工事総合評価競争入札に係る評価基準の一部改正について ○下関市ボートレース企業局が発注する建設工事に係る総合評価方式の実施について 		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり		
指名停止措置の運用状 況報告	7件8者		
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	特になし		

別紙

意見・質問	回答
令和5年度 山の口・旭線法対策工事	
<p>1 者の入札額のみが最低制限価格を下回って失格となっているが、それ以外は最低制限価格と同じ3,300万円となっている。理由は何があるか。</p> <p>同額の場合の抽選というのは、くじ引きか。</p> <p>くじで同じところが何度も取ったり、いつも取れなかったりということが生じると思うが、問題はないのか。他に方法はないのか。</p> <p>金額だけでなく、工事能力なども考慮すべきではないか。</p> <p>最低制限価格と同額で入札というのはレアケースか。</p>	<p>最低制限価格は要領を定めており、割合を公表している。そのため、業者の積算能力が高まっていることから、最低制限価格で入札されるケースが増えている。</p> <p>そのとおり。</p> <p>同額でくじとなるケースが生じるのは、他市も同じような状況と聞いている。方法としては、本市においては一抜け方式を行っており、同一規模・工種であれば順番を付けて違う業者が取れるようにしている。また、総合評価方式も方法の一つになっていると考えている。</p> <p>今回の案件については価格競争となっているが、総合評価方式については価格だけではない点数で評価を行っており、設計金額が4,000万円以上であれば技術力も評価している。</p> <p>この事案についてはとび・土工・コンクリート工事で発注しているが、土木系の工事は積算基準、単価がオープンになっており、それと同時に最低制限価格のルールも公表しているため、同額での入札になることが多い。営繕系の工事ではそこまでオープンになっていないので、同額入札というのはあまり見受けられない。</p>

<p>土木関係の単純な工事についてはよくあることか。</p> <p>工種が決まると、材料も決まる。積算ソフトに金額を入力すると大体同じ金額が出る。それにより同じ金額が並ぶと思われる。コンクリートを何m³と入力すれば、金額がはじき出されるソフトがある。たぶん、どの業者も使用していると思われ、そのためこのように同じ金額が並んでいるのではないのかと考えられる。</p> <p>入札参加資格の条件について、PFI法に基づいた工事を実績として認めているのは、入札参加資格の対象を広げるためか。</p> <p>待受け擁壁と通常の擁壁は何が違うのか。</p> <p>法面对策工事とは、崩壊や落石に対する対策なのか。</p> <p>法面の土質はどういった土質か。</p>	<p>頻繁にある。</p> <p>今年度から PFI 法に基づいた工事を実績として認めている。民間工事ではあるが、下関市が PFI 法に基づく工事を契約しているところもあるため、実績として認めている。なお、下関市において、建築では PFI 法に基づく工事实績はあるが、とび土工ではない。PFI 法の条件を入れることで、広く入札に参加できるようにしている。</p> <p>待受け擁壁とは、擁壁の上に落石防護柵を設置し、柵で受けた落石等を擁壁背面のポケットで受けるもの。斜面もきれいにするが、その後、転石や落石が起こった場合を想定して、防護柵で道路の安全対策を行うもの。</p> <p>はい。</p> <p>砂質である。</p>
---	--

川中豊町七丁目 150 mm配水管耐震化工事	
<p>150mm管と 50mm管の使い分けは何か。</p> <p>入札参加資格設定の理由に、工事の特性を踏まえ条件を設定したとあるが、この工事の特性とは何か。</p>	<p>今回の工事は、元々入っている管を更新する工事である。口径は既存の管に合わせたものを基本としているが、水量を考えながら選定をしている。</p> <p>本工事は、優良業者を対象とした入札で、4,000万円未満で、施工上の制約が少ない工事又は災害復旧工事を対象として、事業課に選んでもらう形で優良工事を決定している。こういった特性を踏まえて、「優良建設事業者認定を受けていること」、今回の工事が本管である配水管から給水管に接続する工事を含むため、「指定給水装置工事事業者であること」、確実に自社で給水管の工事が行えるということで、「自社雇用の配水管技能者を配置できること」を条件として設定している。</p>
農業水路等長寿命化・防災減災事業 ぐみが浴ため池切開工事	
<p>見積業者 3 者選んだ根拠は何か。</p> <p>比較的近い場所にある業者ということか。</p> <p>資料の作りとして、落札者の見積額だけではなく、他の 2 者の見積額も載せたほうが良いのではないか。</p> <p>当初設計から一度設計変更を行っ</p>	<p>見積業者については施工場所、工事規模等を考えた上で、選定している。</p> <p>そういったことも 1 つの条件とし、設計金額の規模、業者のランク等で判断し、選定している。</p> <p>次回から随意契約の他の業者の見積額も載せるように資料を作成する。今回の事案では、他の 2 者は辞退した。</p> <p>設計書と相違があり、正当な理由</p>

<p>ているが、変更金額が5万円弱となっている。設計変更の必要があったのか、また、特殊な事情があるのか。</p> <p>数量が増えたのか。単価が上がったのか。具体的な内容は何か。</p> <p>地滑りとはどのような状況か。</p> <p>ため池が影響したのか。</p> <p>それから被害はないのか。</p>	<p>があれば少額でも変更を行う。</p> <p>ため池の入口が農道になるため、敷鉄板等で保護していたが、工事車両が大型のため舗装版を痛めた。そのため、舗装版の修繕をするという当初全く予定のなかったものを増やすということで契約変更した。面積は小さかったため変更金額は小さい。</p> <p>山崩れをおこし、平たいところができ、そこも15mくらい円形状に斜面が滑った。このまま、またずれると大きな災害になるということで山口県が予防を行った。最初の山崩れは垂直、2回目は水平に近い形で地滑りを起こした。</p> <p>地形上、ため池の影響は少ないと考えているが、それを否定するものは無かった。また、大きな災害を起こす可能性があったので、工事を急いだ。</p> <p>はい。</p>
<p>審 議</p>	
<p>抽出事案3件について、特段の意見等なし</p>	
<p>○下関市建設工事総合評価競争入札事務処理要領の一部改正について</p>	
<p>改正の趣旨は、作業船を所有していることを裏付ける資料を今までよりも簡素化したということか。</p> <p>共同保有の場合は、必要な経費を複</p>	<p>今までよりも簡素化し、資料としては第三者が発行する書類に限定した。</p> <p>共同保有を裏付ける資料として求</p>

<p>数の者で負担していることが確認できる書類を求めるのか。</p> <p>具体的にはどのようなもの想定しているか。</p> <p>共同保有者が互いに所有しているという証明書では足りないのか。</p> <p>費用負担の合意書や契約書が必要ということか。</p> <p>(審議等) 異議なし。</p>	<p>める。</p> <p>共同保有しているもの同士の双方の契約書等を想定している。</p> <p>費用は双方で負担するという一文が入ったものが必要と考えている。</p> <p>はい。</p>
<p>○下関市上下水道局建設工事総合評価競争入札に係る評価基準の一部改正について</p>	
<p>内容としては、『下関市建設工事総合評価競争入札事務処理要領の一部改正について』と同様ということで良いか。</p> <p>(審議等) 異議なし。</p>	<p>はい。</p>
<p>○下関市ポートルース企業局が発注する建設工事に係る総合評価方式の実施について</p>	
<p>ポートルース企業局と市長部局で取り扱いが違うのか。</p> <p>市長部局と上下水道局の関係と同じように、別で取り扱う必要があるのか。</p> <p>特別簡易型、簡易型とあるが、それを適用する場合の金額も市長部局に倣うのか。</p> <p>(審議等) 異議なし。</p>	<p>下関市と企業局では異なる。</p> <p>はい。</p> <p>実施要領以外については、市長部局に準じて行う。適用金額についても市長部局に準じ、同様に考えている。</p>